



令和3年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年11月12日

上場会社名 サカイオーベックス株式会社
コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 室坂浩一

TEL 0776-36-5800

四半期報告書提出予定日 令和2年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	10,524	20.2	402	57.3	1,153	25.1	738	31.9
2年3月期第2四半期	13,186	3.1	944	11.2	1,540	16.2	1,085	16.3

(注) 包括利益 3年3月期第2四半期 957百万円 (53.7%) 2年3月期第2四半期 623百万円 (48.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	120.10	119.41
2年3月期第2四半期	176.16	175.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第2四半期	30,354	22,067	72.5
2年3月期	32,159	21,493	66.6

(参考) 自己資本 3年3月期第2四半期 22,001百万円 2年3月期 21,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		0.00		65.00	65.00
3年3月期		0.00			
3年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	22.0	800	62.3	1,900	36.9	1,200	48.1	195.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

3年3月期2Q	6,436,258 株	2年3月期	6,436,258 株
---------	-------------	-------	-------------

期末自己株式数

3年3月期2Q	275,927 株	2年3月期	290,903 株
---------	-----------	-------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

3年3月期2Q	6,152,364 株	2年3月期2Q	6,159,751 株
---------	-------------	---------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想及び配当予想については、本日公表いたしました「令和3年3月期第2四半期累計連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想並びに配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界経済への深刻な影響が続く中、段階的な経済活動の再開によって、一部に改善の兆しも見受けられるものの、依然として不透明な状況で推移しております。

この様な経営環境のもと、当社グループの当第2四半期の業況は、制御機器事業は増収となりましたが、主力の染色加工事業、繊維販売事業が減収となった事によりグループ全体では減収となりました。利益面では、製造原価の低減に取り組むとともに、継続的に生産調整等も実施しましたが、大幅な減収になった事等により営業利益は減益となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、生産調整による助成金収入の計上はあったものの、持分法投資利益が減少したことにより減益となりました。

当第2四半期の当社グループの売上高は10,524百万円と前年同期比2,662百万円(△20.2%)の減収となり、営業利益は402百万円と前年同期比541百万円(△57.3%)の減益、経常利益は1,153百万円と前年同期比387百万円(△25.1%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は738百万円と前年同期比346百万円(△31.9%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、納期対応や開発案件の顧客連携により一層努めたものの、新型コロナウイルスによる受注環境の悪化が大きく影響し、主力のユニフォーム用途や海外向け婦人衣料用途並びにスポーツ用途等が大幅に減少しました。自動車関連資材用途は、市況が改善傾向にあり、回復基調で推移しました。利益面では、受注の減少に対応した生産調整や製造原価の低減活動をグループ全体で継続したものの、減益となりました。

当事業の売上高は、4,618百万円と前年同期比1,369百万円(△22.9%)の減収となり、営業利益は16百万円と前年同期比398百万円(△96.1%)の減益となりました。

(繊維販売事業)

テキスタイル事業、アパレル事業ともに、新型コロナウイルスの影響による衣料消費の急激な減少や営業活動の制限等もあって低調な結果となりました。テキスタイル事業は、主力のユニフォーム用途や婦人衣料用途ともに大幅に受注が減少しました。アパレル事業は、消費の減退や展示会の中止などにより、厳しい状況にあるものの、採算性の向上に努めるなど既存OEM事業の再構築に引き続き取り組むとともに、ECチャネル向け等の販路拡大に注力しました。また、テキスタイル事業と縫製品事業の連携については、継続的に案件開発に取り組みました。

当事業の売上高は、2,958百万円と前年同期比1,471百万円(△33.2%)の減収となり、営業利益は153百万円と前年同期比65百万円(△30.1%)の減益となりました。

(制御機器事業)

主力の制御装置関連は、設備投資の減少により、自動車プレス関連制御装置およびFA関連制御装置は低調な結果となりましたが、高速道路向けやダム等のゲート水門向けなど社会インフラ関連並びに半導体装置関連は堅調に推移しました。電力工事関連は、老朽化設備更新における大型案件の新規受注は好調だったものの、中小規模案件が減少したことにより、低調に推移しました。情報システム関連は、パソコン機器の更新がひと段落したことや生産工程管理システムが減少したことから、低調に推移しました。

当事業の売上高は、1,825百万円と前年同期比765百万円(72.2%)の増収となり、営業利益は334百万円と前年同期比156百万円(87.5%)の増益となりました。

(その他の事業)

織布事業は、海外向け織物用糸加工、高密度織物ともに受注環境は改善せず、低調に推移しました。水産資材事業は、主力の沖縄県で中層浮漁礁の営業に注力しましたが、低調な結果となりました。建設不動産事業は、公共物件等の受注活動に注力したものの、一般住宅、リフォーム案件等が減少し低調な結果となりました。複合部材事業は、航空・宇宙向けなどの新規用途への市場浸透に努めましたが、新型コロナウイルスの影響により、主力のモータースポーツ市場用途の受注が回復せず低調な結果となりました。縫製事業は、新型コロナウイルスの影響で、主力の百貨店系アパレル向けが激減し低調な結果となりましたが、新たに病院向けアイソレーションガウン等の生産を行いました。ヘルスケア事業は、新型コロナウイルスの影響により減少していた病院等への来院者数に未だ回復の兆しが見受けられず、低調な結果となりました。

その他の事業の売上高は、1,122百万円と前年同期比586百万円(△34.3%)の減収となり、営業損失は115百万円(前年同期は営業利益132百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,805百万円減少して30,354百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより2,258百万円減少して15,069百万円となり、固定資産は、投資その他の資産の増加などにより453百万円増加して15,284百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,378百万円減少して8,287百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより2,370百万円減少して5,912百万円となり、固定負債は、8百万円減少して2,374百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ573百万円増加して22,067百万円となりました。これは、株主資本が366百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は72.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は7,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1,020百万円の収入(前年同期は357百万円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益1,153百万円や減価償却費239百万円、売上債権の減少2,201百万円がある一方で、持分法による投資利益321百万円や仕入債務の減少1,743百万円、法人税等の支払629百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は125百万円の支出(前年同期は203百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出116百万円によるものです。

「財政活動によるキャッシュ・フロー」は727百万円の支出(前年同期は740百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額397百万円や借入金の圧縮300百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年8月12日に開示した「令和3年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としていた令和3年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を本日公表しております。詳細は本日公表の「令和3年3月期第2四半期累計連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想並びに配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,260,026	7,431,835
受取手形及び売掛金	4,601,978	2,809,372
電子記録債権	2,004,206	1,594,157
商品及び製品	1,404,401	1,127,133
仕掛品	762,330	796,292
原材料及び貯蔵品	597,071	535,407
その他	714,508	787,779
貸倒引当金	△15,772	△12,030
流動資産合計	17,328,749	15,069,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,390,551	2,337,755
機械装置及び運搬具(純額)	834,980	783,612
土地	2,960,985	2,960,985
リース資産(純額)	104,101	107,266
その他(純額)	52,139	40,074
有形固定資産合計	6,342,758	6,229,694
無形固定資産		
のれん	136,286	107,774
その他	93,297	95,189
無形固定資産合計	229,584	202,963
投資その他の資産		
出資金	5,165,354	5,603,496
その他	3,096,400	3,251,845
貸倒引当金	△2,911	△3,594
投資その他の資産合計	8,258,842	8,851,746
固定資産合計	14,831,185	15,284,405
資産合計	32,159,935	30,354,353

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,707,280	2,119,459
電子記録債務	983,077	827,226
短期借入金	1,340,913	1,084,705
1年内償還予定の社債	—	50,000
未払法人税等	679,335	306,614
賞与引当金	589,564	568,470
その他	982,591	955,799
流動負債合計	8,282,761	5,912,274
固定負債		
社債	150,000	100,000
長期借入金	391,708	347,087
環境対策引当金	81,466	81,466
その他の引当金	18,900	—
退職給付に係る負債	919,726	919,520
資産除去債務	117,193	117,847
その他	704,179	808,944
固定負債合計	2,383,174	2,374,865
負債合計	10,665,935	8,287,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	1,262,790	1,261,085
利益剰余金	15,886,861	16,226,295
自己株式	△550,105	△521,815
株主資本合計	21,254,591	21,620,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237,894	337,551
繰延ヘッジ損益	2,232	△300
為替換算調整勘定	25,016	137,080
退職給付に係る調整累計額	△101,832	△93,061
その他の包括利益累計額合計	163,311	381,269
新株予約権	57,201	45,546
非支配株主持分	18,896	19,787
純資産合計	21,493,999	22,067,213
負債純資産合計	32,159,935	30,354,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
売上高	13,186,622	10,524,239
売上原価	11,126,386	8,925,961
売上総利益	2,060,236	1,598,277
販売費及び一般管理費	1,115,640	1,195,314
営業利益	944,595	402,962
営業外収益		
受取利息	775	1,580
受取配当金	26,801	24,360
持分法による投資利益	538,613	321,366
助成金収入	—	377,612
その他	48,138	36,452
営業外収益合計	614,328	761,371
営業外費用		
支払利息	10,770	7,557
その他	7,676	3,389
営業外費用合計	18,446	10,946
経常利益	1,540,476	1,153,387
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	121	78
特別損失合計	121	78
税金等調整前四半期純利益	1,540,354	1,153,308
法人税等	453,804	413,535
四半期純利益	1,086,550	739,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,428	891
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,085,121	738,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
四半期純利益	1,086,550	739,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,383	99,656
繰延ヘッジ損益	434	△2,533
為替換算調整勘定	△7,685	△5,811
退職給付に係る調整額	6,714	8,770
持分法適用会社に対する持分相当額	△402,609	117,875
その他の包括利益合計	△463,529	217,958
四半期包括利益	623,021	957,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621,620	956,839
非支配株主に係る四半期包括利益	1,400	891

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,540,354	1,153,308
減価償却費	235,090	239,529
のれん償却額	28,511	28,511
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,190	△3,059
受取利息及び受取配当金	△27,576	△25,940
支払利息	10,770	7,557
為替差損益(△は益)	1,284	△1,119
持分法による投資損益(△は益)	△538,613	△321,366
助成金収入	—	△377,612
売上債権の増減額(△は増加)	△145,341	2,201,961
たな卸資産の増減額(△は増加)	△356,559	338,189
仕入債務の増減額(△は減少)	△189,272	△1,743,023
その他	171,537	△152,975
小計	731,376	1,343,961
利息及び配当金の受取額	27,571	25,957
利息の支払額	△10,660	△7,467
助成金の受取額	—	287,429
法人税等の支払額	△390,922	△629,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,365	1,020,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△169,579	△116,184
無形固定資産の取得による支出	△8,700	—
投資有価証券の取得による支出	△4,516	△1,251
その他	△21,083	△8,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203,880	△125,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	68,000	△80,000
長期借入れによる収入	400,000	440,000
長期借入金の返済による支出	△676,917	△660,829
自己株式の取得による支出	△167,242	△264
配当金の支払額	△340,436	△397,189
その他	△24,188	△29,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△740,784	△727,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,147	△2,445
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△591,446	165,155
現金及び現金同等物の期首残高	6,398,272	6,963,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,806,825	7,128,448

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,987,920	4,429,031	1,060,094	11,477,046	1,709,575	13,186,622	—	13,186,622
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	64,058	782	99,146	163,987	344,312	508,299	△508,299	—
計	6,051,979	4,429,814	1,159,241	11,641,034	2,053,887	13,694,922	△508,299	13,186,622
セグメント利益	414,265	218,823	178,608	811,697	132,896	944,593	1	944,595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,618,092	2,958,023	1,825,457	9,401,574	1,122,664	10,524,239	—	10,524,239
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,468	8,705	85,851	113,025	195,994	309,020	△309,020	—
計	4,636,561	2,966,728	1,911,309	9,514,599	1,318,659	10,833,259	△309,020	10,524,239
セグメント利益又 は損失(△)	16,146	153,056	334,892	504,095	△115,567	388,528	14,434	402,962

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。